

■ 絶滅が危惧される稀少植物の保護に関する取組み

地球上の生物は、判っているだけで約175万種、未知の生物も含めると3,000万種とも推測されています。そのうち毎年4万種が絶滅しているとも言われており、絶滅の脅威にさらされた野生生物の種の保存は、地球レベルで緊急に取り組むべき重要な課題となっています。このため、当社では九州で絶滅が危惧される身近な植物の保護に取り組んでいます。

【送電線に接近した樹木伐採時における稀少植物の保護（奄美大島地区）】

当社では、送電線への樹木接触による停電を防止するため、事前調査を行ったうえで、送電線の近くまで伸びている樹木を伐採しています。

奄美大島地区の山林には、稀少植物が数多く自生しており、これらの稀少植物が送電線の下にあると樹木伐採時に踏み荒らしてしまう恐れがあります。

そこで、平成21年度以降、現地の環境専門家の立会いのもとで事前調査を実施し、樹木の鑑定や保護すべき植物の確認及び伐採方法等に関するアドバイスをいただくことで、これらの稀少植物の保護に努めています。



絶滅危惧種に指定されているオオバカンアオイ



事前調査の様子

用語集を
ご覧ください

- ステー
ホルダー
- 絶滅危惧種